

11月号

令和7年10月31日発行

えだわんだより

共に伸び 共に輝け 感謝・感動 しなやかえだわん

え 笑顔で あいさつ

だれもが 安心

ひ 一人一人 みんなちがって みんないい

か がんばろう 最後まで

し 信じ合おう 友達



「心の糧」の第一歩 ～本の読み方～

文と絵 校長 北村高則

だれにも共通する本の読み方というものはありません。一人一人、目的によって読み方が違って当然です。資料として何かを探すために読み飛ばす。逆にじっくり繰り返し読む。見知らぬ世界をドキドキしながらのぞいていくように読む。ぼんやりながめるように読む。作者と対話をするように読む。その一人一人、その場、その場の読み方を大切に認めてあげたいと思います。

特に、活動的で、好奇心の旺盛な高学年の子どもたちには、理屈抜きで作品と親しむこと、楽しい読みの体験をたくさんさせたいと思います。まず、物語に限らず、ノンフィクション、科学読み物、図鑑、事典などいろいろなジャンルの本に触れさせることです。子どもたちには、おもしろいものとつまらないものを選り分ける力があるものです。

たくさんの本を読むことによっていろいろな知識を得、心を豊かにすることができます。読書は、私たちが幸せに生活するためには何が大切な考えを与えてくれます。

元気に遊んだり、熱心に勉強したりする姿のうえに、一生を生き抜く強い力や美しい心、温かい心、相手を思いやる心を持ってほしいと思います。

の第一歩を踏み出してください。

翻訳
ふりがな
(えだわん)



いろ
をぬってね